



知立市長
林 郁夫

新年、明けましておめでとうございます。昨年は、大きな災害に見舞われた年でありました。被災地の一刻も早い復興を願うところであります。過去、関東大震災の復興につきましては、東京市長でもありました後藤新平氏が、

たいへんなご活躍をされたのですが、その後藤氏が、最も重要視したのが、市民ひとりひとりの自治力の向上であります。自治力があることによって、復旧復興も、スムーズにできたと言われております。そうした中、自治力を向上させる最も大きな手段となるのが、日頃の弛まぬ学習、学びであります。知立市は、愛知県でただひとつの生涯学習都市宣言をしている市であります。皆様方におかれましては、スポーツ、文化活動、ボランティア活動、何でも結構ですので、ぜひ自分にとって、できるものから、お取り組みいただければと思います。

本年のNHK大河ドラマは、「平清盛」です。一昨年、知立まつりにおいて、90年ぶりに、平治合戦が、国指定重要無形民俗文化財であります「からくり」で演じられ、新聞等でも大きな話題となりました。本年は、知立まつりの本祭りでもあります。どうぞ、多くの皆様方にお越しいただき、改めて知立の伝統文化を堪能していただくと共に、清盛の明暗それぞれの生き様を見て、学んでいただければと思うところであります。本年が、皆様方にとりまして、素晴らしい年でありますよう祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二十四年新年のごあいさつ



知立市議会議員
永田 起也

平成二十四年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。日頃は、市議会に對しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。さて、昨年は東日本大震災や原発事故などの災害により国内は甚大な被害を受け、世界にも大きなショックを与えました。

また、日本の経済状況は依然として停滞しており、地方自治体の財政運営にも大きな影響をもたらしています。本市においても、知立駅付近連続立体交差事業を抱えている中、福祉・教育など直面する課題は山積しており、厳しい財政状況にあります。市民サービスを低下させることなく、更なる向上を目指してまいります。現在、知立市議会は、議会改革特別委員会を設置して以来、十数回による委員会を重ね「アンケート調査の実施」「議会報告会の開催決定」「陳情者からの趣旨説明」「反問権の実施」など、様々な議会改革に取り組んでおります。

今後とも改革の機運を絶やさず、議会基本条例の制定や議員定数の在り方などを議論し、全議員で議会改革を推進していきます。そして市民の皆様から負託されたものとして、その役割を十二分に発揮し、二元代表制のもと安全で住みよいまちづくりに努めていく所存であります。皆様には、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。最後に、原発事故の収束と被災からの1日も早い復興を願いつつ、皆様方にとって今年が明るく希望の持てる年となりますよう、ご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。